

ボランティア新聞 No. 3

H30.9.14

夏休み福祉体験学習の感想を寄せてもらいました。

1年 I. M さん

私は「榎の木作業所」で、お菓子を詰めたり、シールを貼ったりという簡単な仕事を一緒にさせていただきました。みんなで協力して行う仕事で、少しですがいろいろな方とお話もできました。

案内していただいた時、イヤーマフをしている方を見かけました。そこで担当の方から、「自閉症」について教えていただきました。自閉症には種類があり、そこにいた方は、聞こえてくる音がすべて騒音に聞こえてしまうそうです。だからイヤーマフをしているということでした。

この話を聞いてから周りをよく見てみると、椅子が音を出しにくくしてあったり、しきりが置いてあったりと、様々な工夫がしてあることに気づきました。ひとりひとりに配慮している素敵な施設でした。ここでボランティア体験ができて本当に良かったと思います。

2年 A. S さん

私は「榎の木園」で多くのことを学びました。担当したのは軽度の障がいを持った方々のクラスで、私が部屋に入るとすぐ作業を止めて挨拶してくれました。実際に体験した作業は単純作業で、初めは簡単だと思いましたが、同じ作業を何時間も続けていると徐々に疲れてきて集中力を保つのが大変でした。しかし、ここで作業する方々は集中力を全く切らすことなく、黙々と作業をされている姿を見て見習わなくてはならないと思いました。

障がいがある方に偏見を持つ人もいると思いますが、実際に関わってみると良さが見えてくると思います。この体験を通して障がいに対する考え方が大きく変わりました。これからは困っている方を見かけたら積極的に声をかけていきたいと思います。

2年 T.H さん

私は高齢者施設「あいふるの里」で、お年寄りの方たちを迎え入れてからすぐに入浴介助をさせていただきました。身体が自由に利かない方たちもいらっしゃるの、手伝うのはとても大変でした。また、昼食の前にみんなでストレッチをしながらおしゃべりをして、楽しく過ごしました。元気な高齢の方がたくさんみえたので、いろいろなお話ができました。

午後は薬博物館へ行きました。足が不自由な方もいるので、歩くときは手を添えてあげながら、お年寄りの方のペースに合わせてまわりました。

介助するのは大変だと思っていましたが、実際に体験してみて改めてそれを実感しました。とても貴重な経験をさせていただきました。



(上) お菓子を詰める作業

(下) 部品の組み立て

2学期の ボランティア予定

- 10月 びさいまつりパレード供人
- 11月 かしの木まつり運営補助
- 11月 校内赤い羽根共同募金